

CTK-531 CTK-541

取扱説明書（保証書別添）

本機をご使用になる前に必ず本書の
「安全上のご注意」をお読みください。
この取扱説明書は、お読みになったあとも、
保証書とともに、大切に保管してください。





CASIO

安全上のご注意

このたびは、カシオ製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

- ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- 本書は、お読みになった後も大切に保管してください。

絵表示について この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。(左の例は感電注意)



⊘記号は「してはいけないこと」を意味しています。(左の例は分解禁止)



●記号は「しなければならないこと」を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

ACアダプターの取り扱いにご注意ください

- 表示された電源電圧（交流100V）以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはカシオ・テクノサービスステーションで新しいACアダプターをお買い求めください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。火災・感電の原因となります。
- 本機指定のACアダプターをご使用ください。指定以外のACアダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。



本機やスタンドを不安定な場所に置かないでください

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

水などの入った容器などを置かないでください

- 本機の上に次のものを置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。
 - * 水などの入った容器。(花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)
 - * 小さな金属物。(ヘアピン、縫い針、硬貨など)
 - * 燃えやすいもの。



万一、異物が本機の内部に入った場合は、次の処置を行なってください。

1. 電源スイッチを切る。
2. ACアダプター本体をコンセントから抜く。
3. 電池が入っている場合には電池を抜く。
このとき、電池に直接手で触れないでください。電池が高温になっていたり、電解液が噴出する場合があります。
4. 販売店またはカシオ・テクノサービスステーションに連絡する。



⚠ 警告

分解・改造はしないでください

- 本機、および付属品、別売品を分解、または改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は、販売店またはカシオ・テクノサービスステーションにご依頼ください。



異常・故障状態で使用しないでください

- 煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態で使用しないでください。また、電源が入らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに次の処置を行なってください。お客様による修理は危険ですから、絶対におやめください。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. ACアダプター本体をコンセントから抜く。
 3. 電池が入っている場合には電池を抜く。このとき、電池に直接手で触れないでください。電池が高温になっていたり、電解液が噴出する場合があります。
 4. 修理を販売店またはカシオ・テクノサービスステーションに依頼する。



本機を落としたときは

- 万一、本機を落としたり、破損した場合は、次の処置を行なってください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 1. 電源スイッチを切る。
 2. ACアダプター本体をコンセントから抜く。
 3. 電池が入っている場合には電池を抜く。このとき、電池に直接手で触れないでください。電池が高温になっていたり、電解液が噴出する場合があります。
 4. 販売店またはカシオ・テクノサービスステーションに連絡する。



ポリ袋をかぶらないでください

- 本機や付属品または別売品が入っているポリ袋をかぶらないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。窒息の原因となります。

⚠ 注意

ACアダプターについて

- 電源コードをストーブ等の熱器具に近付けないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- ACアダプターをコンセントから抜くときは、必ずACアダプター本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり切れたりして、火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で、コンセントに差し込んであるACアダプターに触れないでください。感電の原因となることがあります。
- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ずACアダプター本体をコンセントから抜いてください。
- 使用後は本機の電源スイッチを切り、ACアダプター本体をコンセントから抜いてください。



乾電池について

- 電池の誤った使い方は、破裂、液もれにより、けがや、液もれの付着による家具などの変色の原因となることがあります。次のことを必ずお守りください。
 - * 極性(⊕⊖)の向きを、本体表示通りに正しく入れてください。
 - * 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全、液もれ防止のため、必ず電池を本機から抜いてください。
 - * 同じ種類の電池を使ってください。
 - * 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
 - * 火中に投入したり、ショートさせたり、分解、加熱をしないでください。
 - * 消耗したときはすぐに取り出してください。
 - * 充電は絶対にしないでください。

移動させるときは

- 移動させる場合は、必ずACアダプター本体をコンセントから抜き、その他の外部の接続線ははずしたことを確認の上、行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



⚠ 注意

お手入れについて

- お手入れの際は、安全のためACアダプター本体をコンセントから抜いて行ってください。また、電池が入っている場合には、電池を抜いて行ってください。



設置場所について

- 湿度の高い場所やほこりの多い場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿機のそばなど、油煙や湯気があたるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 本機を、家具などの塗装面に直接置かないでください。本機底面のゴム足と塗料が反応し、塗装面が汚れたり、傷つくことがあります。ゴム足の下にフェルトなどの布を敷くか、スタンドをご使用ください。



本機に重いものを置かないでください

- 本機に重いものを置かないでください。倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

音量について

- 本機のみ、あるいは本機をヘッドホン、アンプ、スピーカーなどと組み合わせて使用する場合、設定によっては難聴になる程度の音量となることがあります。大きい音量で長時間で使用しないでください。万一、聴力の低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください。

液晶表示について

- 液晶表示を強く押したり、強い衝撃を与えないでください。液晶表示のガラスが割れてけがの原因となることがあります。
- 液晶表示が割れた場合、表示内部の液体には絶対に触れないでください。皮膚の炎症の原因となることがあります。
 - * 万一、口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。
 - * 目に入ったり、皮膚に付着した場合は、清浄な流水で最低15分以上洗浄した後、医師に相談してください。

⚠ 注意

本機の上やスタンド*に乗らないでください

- 本機の上やスタンドに乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。

スタンド*について

- スタンドに記載されている組み立ての説明にしたがって、しっかりと組み立ての上、本機を正しく設置してご使用ください。ネジが正しい位置にしっかりと固定されていないか、本機の位置がずれていたりすると、スタンドが倒れたり、本機が落ちたりして、けがの原因となることがあります。

※ スタンドは別売品です。

電池が消耗したときの状態について

下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。
- MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。

主な特長

本機は次のような特長を備えたキーボードです。

■ 100音色で演奏できます。(100音色) ■

オーケストラ楽器やシンセサウンドなど、本体で100種類の音色が楽しめます。

■ 100種類のリズムに合わせて演奏できます。(100リズム) ■

ロックやポップス、ジャズなど100種類のリズムを備えています。

■ 一人でアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。(自動伴奏機能) ■

コードを指定するだけでリズム、ベース音、コード楽器の伴奏が自動的に演奏されます。

■ 100曲の自動演奏曲を鳴らして楽しむことができます。(ソングバンク機能) ■

「喜びの歌」や「ジングル・ベル」など、100曲の自動演奏曲を内蔵しています。曲を聴いたり、曲のメロディーを消して、その部分を自分で弾いたりすることができます。

■ 大型液晶画面がキーボードの弾き方を示します。(ミュージカルインフォメーションシステム) ■

大型液晶画面に鍵盤を押さえるための指使いや、鍵盤情報、五線譜などを表示し、キーボード演奏の手助けをします。指使いや鍵盤情報はキーボード初心者向けに無理のない押さえ方を表示します。また、暗い場所でも見やすいバックライト付液晶画面を採用しています。

■ 他の楽器やコンピュータと接続できます。(MIDI端子付) ■

他のMIDI端子付の楽器と接続して、片方を弾くだけで両方を鳴らすことができます。また、市販のGM用ミュージック・データを楽しむこともできます。

目次

安全上のご注意	表紙裏
---------------	-----

主な特長	3
------------	---

目次	4
----------	---

各部の名称	6
-------------	---

すぐ使いたい方に (ソングバンク機能早わかりガイド) .	9
------------------------------	---

電源について	10
--------------	----

家庭用 100V 電源で使うときには	10
--------------------------	----

電池で使うときには	10
-----------------	----

オートパワーオフ機能	11
------------------	----

電源と設定内容について	11
-------------------	----

接続するには	12
--------------	----

ヘッドホン/アウトプット端子について	12
-------------------------	----

サスティン端子について	12
-------------------	----

付属品・別売品について	12
-------------------	----

基本的な操作	13
--------------	----

音を出してみましょう	13
------------------	----

音色を選ぶには	13
---------------	----

自動伴奏を鳴らしてみよう	14
--------------------	----

リズムを選ぶには	14
----------------	----

リズムを鳴らすには	14
-----------------	----

テンポを調節するには	15
------------------	----

コード自動伴奏を鳴らすには	15
---------------------	----

フィルインを入れるには	17
-------------------	----

伴奏とリズムを同時にスタートさせるには .	17
-----------------------	----

伴奏の音量を変えるには	17
-------------------	----

自動演奏曲を楽しんでみましょう	18
-----------------------	----

まず、曲を聴いてみましょう	18
---------------------	----

大型液晶表示の見方について	19
---------------------	----

曲のテンポを変えるには	19
-------------------	----

メロディーの音色を変えるには	20
----------------------	----

曲の一部を消して、自分で弾くには	20
------------------------	----

拍手歓声について	21
----------------	----

自動演奏曲を全曲続けて聴くには	21
-----------------------	----

コードをおぼえましょう (コードブック機能) .	22
--------------------------	----

操作の前に知っておきたいこと	22
----------------------	----

コードブックの操作	23
-----------------	----

根音以外の押し方	24
----------------	----

設定を変えるには	25
----------------	----

トランスポーズ機能を利用するには	25
------------------------	----

チューニング機能を使うには	25
---------------------	----

タッチレスポンス機能を利用するには	25
(CTK-541 のみ)	

MIDI を使うには	26
------------------	----

MIDI について	26
-----------------	----

GM 音源用音楽データの対応について	26
--------------------------	----

MIDI の設定を変えるには	28
----------------------	----

困ったときは	29
--------------	----

資料	30
----------	----

音色別発音域表	30
---------------	----

フィンガードコード一覧表	31
--------------------	----

ドラム音色リスト	32
----------------	----

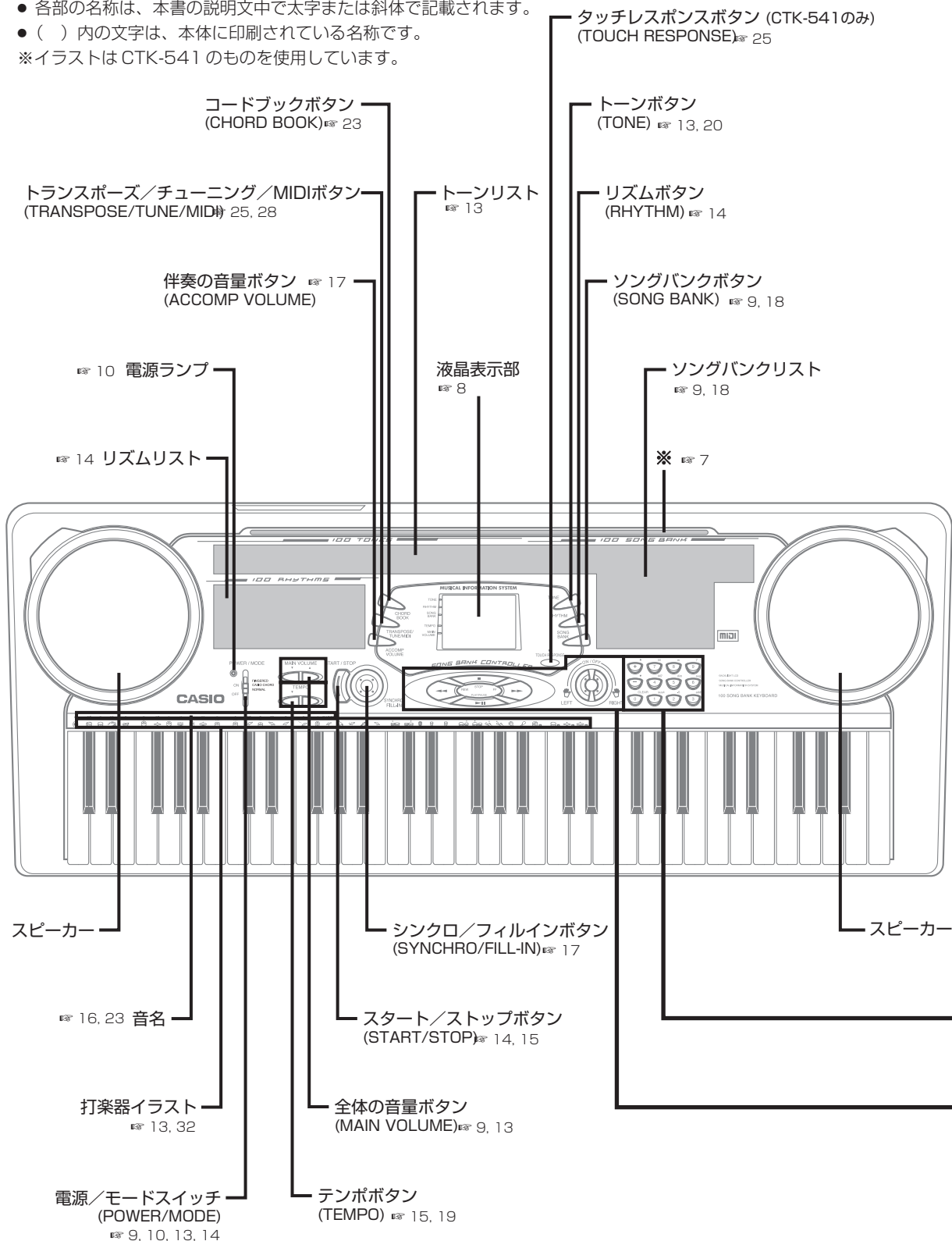
製品仕様 33

別売品のご案内 33

カシオトーン用ソフトのご紹介 34**ご使用上の注意 34****保証・アフターサービスについて 35****MIDI インプリメンテーション・チャート**

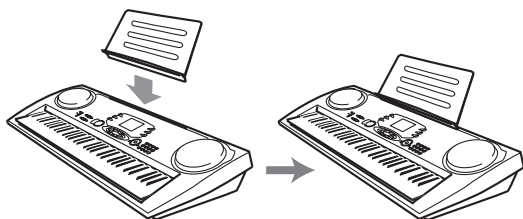
各部の名称

- 数字は、参照ページです。
 - 各部の名称は、本書の説明文中で太字または斜体で記載されます。
 - () 内の文字は、本体に印刷されている名称です。
- ※イラストはCTK-541のものを使用しています。



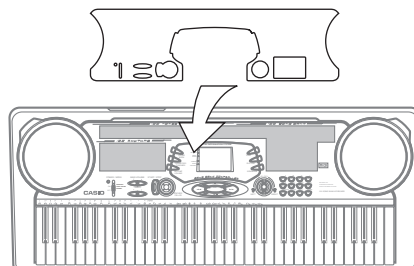
※譜面立ての立て方

譜面立ては、本体の上面にある溝に差し込んでお使いください。

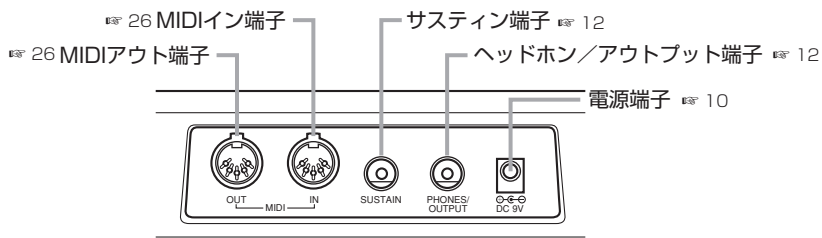


和文操作シートをセットしましょう

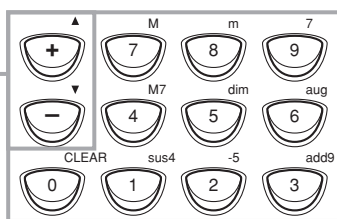
和文操作シートを本体の上ののせてください。



【背面図】



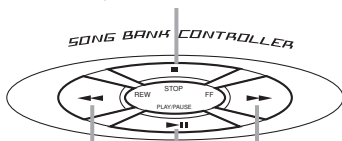
+ / - ボタン
 13, 14, 17, 20, 23, 25, 28
 ・負の数は+ / - ボタンでのみ指定できます。



数字/コード種指定ボタン
 9, 13, 14, 17, 18, 23
 ・表示中の番号や数値を変更するときには押します。
 ・コードブック機能でコードの種類を入力するときには押します。

ソングバンクコントローラー

ストップボタン (STOP)
9, 18

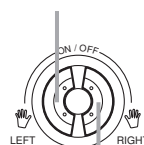


早戻しボタン (REW)
19

早送りボタン (FF)
19

演奏/一時停止ボタン (PLAY/PAUSE)
9, 18, 21

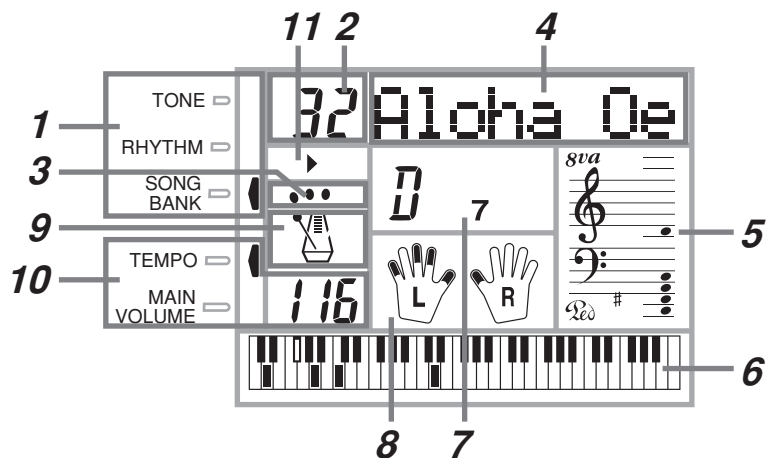
左手 オン/オフボタン (LEFT)
9, 21



右手 オン/オフボタン (RIGHT)
9, 20, 21

各部の名称

【液晶表示の見方】



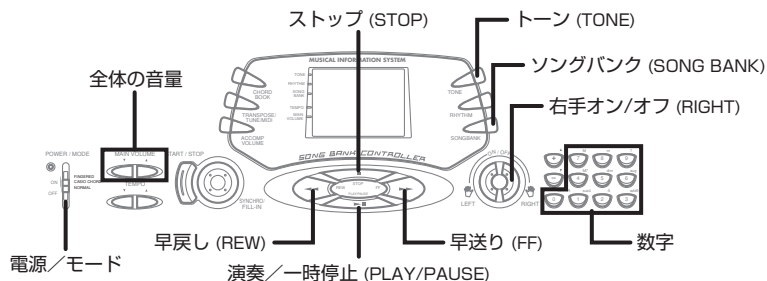
1. 音色 (TONE) / リズム (RHYTHM) / 曲 (SONG BANK) の設定をするときに、対応するドットが点灯します。
2. 音色番号、リズム番号、曲番号、設定値などを表示します。
3. リズムや自動伴奏、ソングバンクの拍数に応じてドットを表示します。
4. 音色名、リズム名、曲名、モード名、設定項目名などを表示します。
5. 弾いた鍵盤の音の高さや、コードフォームなどを五線譜上に表示します。また、指定のペダルを接続し、ペダルを踏んだときにペダルマーク (Ped.) を表示します。
※ C#6 ~ C7 の音の高さの表示は五線譜上に 1 オクターブ低く音譜を表示しオクターブアップマーク (8va) を表示します。
6. 弾いた鍵盤の音の高さや、コードフォームなどを鍵盤に表示します。
7. 自動伴奏、ソングバンク、コードブック機能でコードネームを表示します。
8. ソングバンク演奏時に鍵盤を押さえる指をドットで表示します。また、自動演奏しているパートを "L" "R" で表示します。
9. リズムや自動伴奏、ソングバンク使用時に拍数に応じてメトロノームを表示します。
10. リズムや自動伴奏、ソングバンクのテンポ値を表示します。また、音量の表示もします。
11. ソングバンクコントローラーの操作状況を表示します。

■ NOTE ■

- 本書中では、液晶画面の図が機能説明や操作説明などと共に掲載されています。これらの図は、それぞれの説明の中で一例として挙げているもので、数値や文字表示などは必ずしも本体と一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 電源を入れた直後に、液晶表示の明るさが不安定になることがあります。数秒後には明るさが安定するようになります。

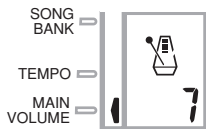
液晶表示のバックライトは、長時間使用すると暗くなることがあります。表示が暗くなり見にくくなった時は、お買い上げの販売店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をご依頼ください。有償にて交換いたします。

すぐ使いたい方に (ソングバンク機能早わかりガイド)



本機には、100曲の自動演奏曲（ソング）が内蔵されています。これらの曲を聴いたり、メロディーや伴奏のパートの音を消して、そのパートを自分で鍵盤を弾いて練習することができます。また、液晶画面に押さえるべき鍵盤や指使いが表示されます。自動演奏曲は一時停止や早戻しなどができますので、同じ部分を繰り返し練習するのに便利です（18ページ「自動演奏曲を楽しんでみましょう」参照）。

1. 電源/モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
2. 全体の音量ボタンで音量を調節します。
• 音量は小さめにしておきましょう。



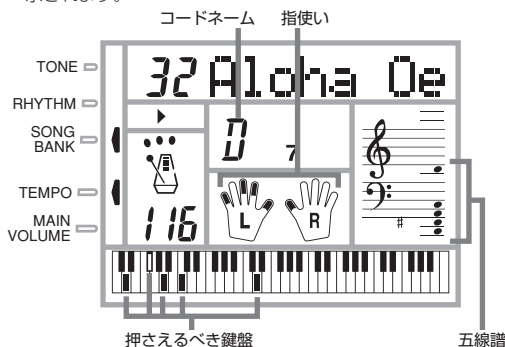
3. ソングバンクボタンを押しソングバンクモードにします。



4. ソングバンクリストからお好きな曲を選び、数字ボタンで選んだ曲の番号（2桁）を押します。
例：“32 アロハ・オエ (ALOHA OE)” の場合は、“3→2” の順番に押します。



5. 演奏/一時停止ボタンを押し、曲を聴いてみましょう。
• 選んだ曲が繰り返し自動演奏され、液晶表示に押さえるべき鍵盤や指使いが表示されます。また、五線譜、コードネームなども表示されます。



6. 右手 オン/オフボタンを押し、曲のメロディー（右手のパート）を弾いてみましょう。
• メロディー（右手パートの音）が消え、伴奏のみが鳴り、メロディー（右手のパート）用の押さえるべき鍵盤や指使いが表示されます。



★ 液晶表示を見ながら、メロディー（右手のパート）を弾いてみましょう。

7. もう一度右手 オン/オフボタンを押すと、メロディー（右手のパート）が発音します。
• 伴奏（左手のパート）も左手 オン/オフボタンを押すことで伴奏（左手のパート）を消したり、発音させたりできます。

8. ストップボタンを押し、自動演奏を止めます。

9. トーンボタンを押し、ソングバンクモードを解除します。
• 音色やリズムを選べる状態に戻ります。



■ NOTE ■

- 自動演奏中に下記の操作ができます。
• 一時停止……演奏/一時停止ボタンを押す。
• 早送り……早送りボタンを押す。
• 早戻し……早戻しボタンを押す。

電源について

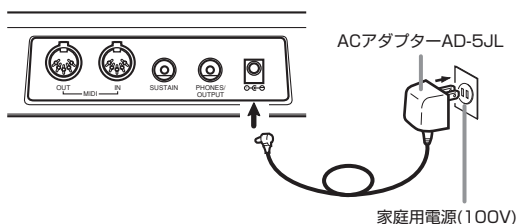
本機は家庭用 100V 電源、電池が使える 2 電源方式です。
ご使用後は、必ず電源/モードスイッチをオフにしてください。

家庭用 100V 電源で使うときには

本機指定の AC アダプターを接続してください。

本機指定 AC アダプターの型式 : AD-5JL

【背面部】



■ AC アダプターについて

⚠ 警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したりしないでください。また、重いものをのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
- 本機指定の AC アダプターをご使用ください。指定以外の AC アダプターを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全のため必ず AC アダプター本体をコンセントから抜いてください。
- 使用後は本機の電源を切り、AC アダプター本体をコンセントから抜いてください。

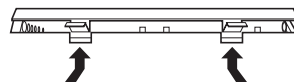
重要

- AC アダプター本体を抜き差しするときは、必ず電源を切ってから行ってください。
- AC アダプターは長時間で使用になりますと、若干熱を持ちますが、故障ではありません。

電池で使うときには

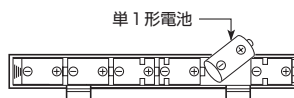
電池を入れる前には、必ず電源を切ってください。

1. 本機底面部の電池ケースのフタははずします。

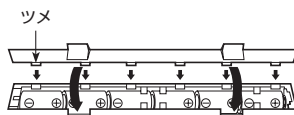


2. 単 1 形電池 6 本を入れます。

- ⊕ ⊖ の向きに注意してください。



3. 電池ケースの穴にツメを差し込み、電池ケースのフタを閉じません。



- ★ 電源を入れたまま電池を交換すると、正常に機能しない場合があります。この場合、一度電源を切ってから再び電源を入れ直してください。

■ 電池について

- 電池持続時間は、通常演奏にて下記の通りです。

- マンガン電池使用時…… 約 5 時間*

※ 常温にて、適切な音量で使用した場合の標準値です。大きめの音量や極端な低温下で使用すると、電池持続時間が短くなります。

- 下記のような状態になった場合は、電池が消耗しています。速やかに、新しい電池とお取り替えください。

- 電源ランプが暗くなった。
- 電源が入らなくなった。
- 液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 音量が小さくなった。
- 音質が劣化した。
- 大きな音を出すと、時々音が途切れる。
- 大きな音を出すと、突然電源が切れる。
- 大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。
- 鍵盤を押していないのに音が出続ける。
- 指定の音色とは異なる音を発音する。
- リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。
- MIDI を接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。

⚠ 注意

電池の誤った使い方は、破裂、液もれにより、けがや、液もれの付着による家具などの変色の原因となることがあります。次のことを必ずお守りください。

- 極性（⊕ / ⊖）の向きを、本体表示通りに正しく入れてください。
- 旅行などで長期間本機をご使用にならないときは、安全、液もれ防止のため、必ず電池を本機から抜いてください。
- 同じ種類の電池を使ってください。
- 新しい電池と古い電池を混ぜて使わないでください。
- 火中に投入したり、ショートさせたり、分解、加熱をしないでください。
- 消耗したときはすぐに取り出してください。
- 充電は絶対にしないでください。

オートパワーオフ機能**■オートパワーオフ機能について**

電源を入れたまま、本機を放置すると、自動的に電源が切れる機能です。

無駄な電力消費を防ぐ自動節電機能で、操作完了後約 6 分で自動的に電源が切れます。

この場合、一度電源 / モードスイッチを“オフ”の位置にしてから、“ノーマル”、“カシオコード”または“フィンガード”に合わせれば、再び電源が入ります。

- 参考 ● アダプターを使用しているときは、オートパワーオフ機能は動きません。

■オートパワーオフ機能をキャンセルするには

- トーンボタンを押したまま、電源を入れます。
- ★ このときは、放置しておいても電源が切れることはありませんので、状況に応じてご利用ください。
- ★ 電源を入れ直すとオートパワーオフ機能が働くようになります。

電源と設定内容について

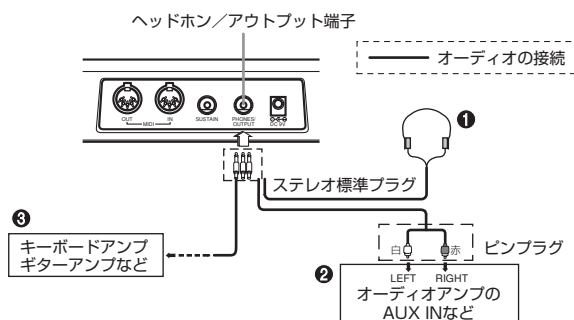
本機では、電源 / モードスイッチの操作やオートパワーオフ機能の働きで電源が切れた後はすべての設定内容は初期状態に戻ります。

接続するには

ヘッドホン/アウトプット端子について

準備 接続の際は、本機の全体の音量を（接続する機器側に音量調節があればそちらも）絞っておき、接続後、適切な音量にしてください。

【背面部】



●ヘッドホンをつなぐには（図①）

内蔵スピーカーからは音が出なくなり、夜間なども周囲に気がねなく演奏を楽しめます。

●オーディオ機器と接続するには（図②）

市販の接続コード（標準プラグ×1、ピンプラグ×2）で図のように接続します。その際、片側（本機につなぐ側）がステレオ標準プラグのものをご利用ください。（モノラルプラグでは、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）通常はオーディオ機器側のインプットセクターで、接続した端子（AUX IN等）に切り替えます。オーディオ機器の取扱説明書もよくお読みください。

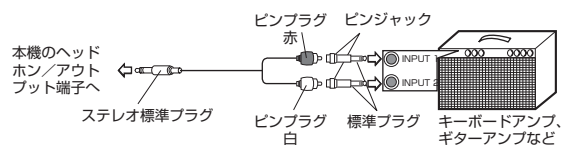
●楽器用アンプと接続するには（図③）

相手側の機器に応じて、市販の接続コード*を使用します。

参考 ※ 本機につなぐ側：ステレオ標準プラグのもの
アンプにつなぐ側：左右両チャンネルの信号が入るようにする。
（どちらが欠けても、ステレオ出力の片側分の音しか出ません。）

楽器用アンプなどと接続するとき、音量は本機の側を小さめにし、アンプ側で調節してください。

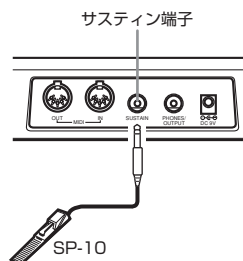
【接続例】



参考 コンピューター（ソフトウェアシーケンサー）やシーケンサー（ハードウェアシーケンサー）に接続して使用することもできます（26ページ「MIDIを使うには」参照）。

サステイン端子について

サステイン端子にサステインペダル（SP-2またはSP-10）を接続すると、下記のような使い方ができます。



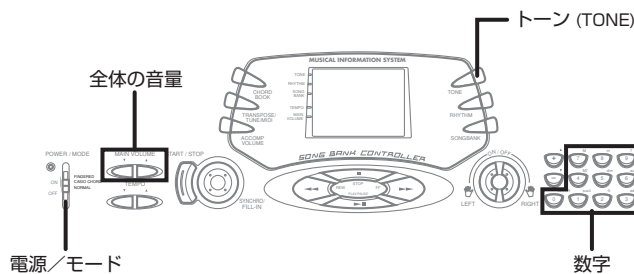
●サステインペダルのはたらき

- ピアノなど減衰音では…ピアノのダンパーペダル同様、鍵盤で弾いた音に余韻の残る効果。
- オルガン系の持続音では…ペダルを踏んでいる間、鍵盤で弾いた音が鳴り続ける「ホールド効果」。

付属品・別売品について

- 付属品や別売品は、必ず本機指定のものをご使用ください。指定以外のものを使用すると、火災・感電・けがの原因となることがあります。

基本的な操作



ここでは本機の基本操作について説明します。

音を出してみましょう

1. 電源/モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
2. 全体の音量ボタンで音量を調節します(弾く前は小さめにしておきましょう)。
3. 鍵盤を弾いてみましょう。
→ 表示されている音色が鳴ります。

音色を選ぶには

本機には 100 種類の音色が内蔵されています。ここで、どんな音色が入っているのかを試してみましょう。

1. トーンリストから鳴らしたい音色を選び、その番号を確認します。
2. トーンボタンを押します。



3. 数字ボタンを使って、番号(2桁)を入力します。
例：“26 ウッドベース (WOOD BASS)” なら、“2→6” と入力します。



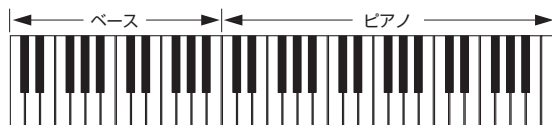
→ ウッドベースの音色で鍵盤演奏できます。

NOTE

- 音色は、必ず 2 桁で指定してください (例：03=0→3)。
1 桁目の入力後、何も入力しないと、数秒後に元の音色番号表示に戻ります。
- +/− ボタンで音色番号を1つずつ切り替えて呼び出すこともできます。
- 効果音の音色では、鍵盤を押したままにすると効果的な使い方ができます。
(例) “77 乗り物 (VEHICLE)”

■組み合わせの音色について

- 2 つの音が混ざった音色 (音色番号：80～89)
(例) “80 ストリングスピアノ (STR PIANO)”
ストリングスの音とピアノの音が混ざった音色です。
- 鍵盤上に複数の異なる音が割り当てられる音色 (音色番号：90～96)
(例) “90 ベース/ピアノ (BASS / PIANO)”
鍵盤上にベースの音とピアノの音がそれぞれ割り当てられています。



- 打楽器の音色
(例) “99 パーカッション (PERCUSSION)”
各鍵盤に異なる打楽器音が割り当てられています。(32 ページ「ドラム音色リスト」参照)
- 効果音の音色 (音色番号：77～79)
(例) “78 テレホン (PHONE)”
オクターブごとに違う効果 (プッシュ音 1・2、呼び出し音 1・2、話し中の音) が鳴らせます。

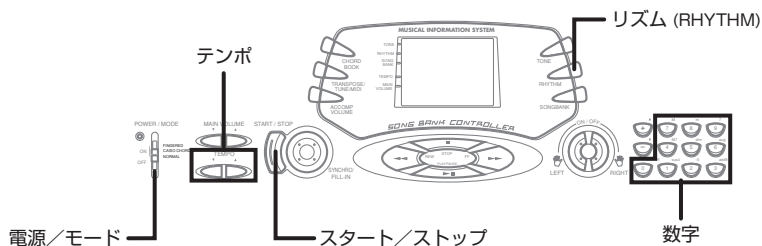
■同時発音数について

- 本機は、同時に最大 16 音まで発音します。ただし、一部の音色では 2 種類の音色を組み合わせているため最大 8 音になるものもあります。
- リズムや自動伴奏が鳴っているときは、鍵盤での演奏音の同時発音数が少なくなります。

■デジタルサンプリングの音色について

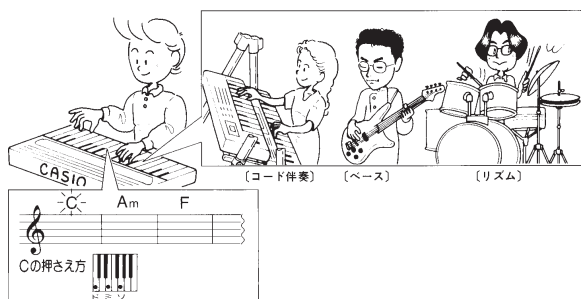
本機で鳴らすことのできる音色のいくつかは、「デジタルサンプリング」という電子技術により、生の楽器の音を録音・加工したものです。こうした音色の中には、元になっている楽器音の音域ごとの音質を再現するために、低域・中域・高域など複数の音域ごとに元の楽器音を録音し、ひとつの音色に仕上げたものがあります。一部の音色で、鍵盤によって音質や音量が若干異なる箇所がありますが、これは上記のようなサンプリング処理における音域の境目 (スプリットポイント) で、故障ではありません。

自動伴奏を鳴らしてみましょう



本機では曲に出てくるコードを押さえることで、ベースパート（低音部）とコード伴奏パートを鳴らすことができます。これらのパートはリズム（打楽器音）と連動しており、リズムの種類ごとに、その雰囲気合った音色が鳴ります。

これらの伴奏に合わせて右手でメロディーを弾けば、一人でもアンサンブル演奏のような楽しさが味わえます。



リズムを選ぶには

本機にはロック、ポップス、ジャズなど、100種類のリズムが搭載されています。

1. リズムリストから鳴らしたいリズムを選び、その番号を確認します。
2. リズムボタンを押します。



3. 数字ボタンで、リズムの番号（2桁）を入力します。

例：“65 ワルツ (WALTZ)” なら “6→5” と入力します。
⇒ “65 ワルツ (WALTZ)” のリズムが選ばれます。



■NOTE■

- 電源を入れたときは“00 ファンキーポップ1(FUNKY POP1)”のリズムが選ばれています。
- リズム番号は、+/-ボタンでも指定できます。

リズムを鳴らすには

選択したリズムをスタートさせて鍵盤演奏が楽しめます。

1. 電源/モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせます。
2. スタート/ストップボタンを押します。
 - ⇒ 選ばれたリズムが鳴り始めます。
 - スタート/ストップボタンを押すと停止します。

■NOTE■

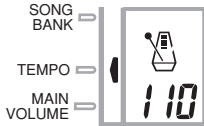
- 電源/モードスイッチが“ノーマル”の位置のときは、すべての鍵盤がメロディー鍵盤となります。

テンポを調節するには

テンポ（1分間に演奏される拍数）を20～255の範囲で調節します。テンポの設定は、コード自動伴奏、ソングバンク機能に対して有効です。

テンポボタンを押します。

- ▲……数値が増える（速くなる）
- ▼……数値が減る（遅くなる）

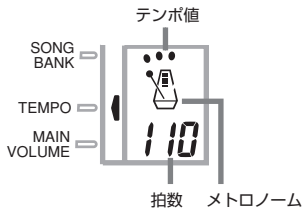


NOTE

- テンポボタン（▲/▼）を同時に押すと、現在指定されているリズムのお勧めのテンポになります。

メトロノーム表示について

リズムや自動演奏曲のテンポ値、拍数、とともにメトロノームを表示しますのでテンポに合わせて演奏の練習ができます。



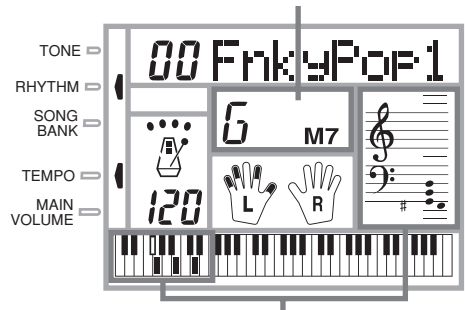
コード自動伴奏を鳴らすには

準備 リズムを選び、テンポを調節します。

1. 電源/モードスイッチを“カシオコード”“フィンガード”のいずれかに合わせ、コードの指定方法を選びます。
2. スタート/ストップボタンを押してリズムをスタートさせます。
3. 伴奏鍵盤でコードを指定してみましょう。

- コードの具体的な指定方法については、モードスイッチの設定に応じて、
「カシオコードについて」…16ページ
「フィンガードについて」…16ページ
をご参考ください。

指定されたコード名を表示します



指定されたコードの基本形を表示します
(実際に押さえている鍵盤と異なる場合があります。また、コードの種類によっては転回形を表示します。)

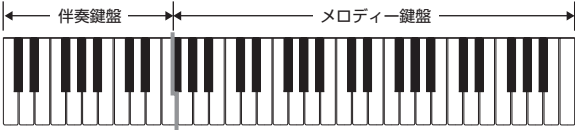
- ➔ 選んだリズムと連動したコード自動伴奏が始まります。
- スタート/ストップボタンを押すと自動伴奏が停止します。

自動伴奏を鳴らしてみよう

■カシオコードについて

この方法では、コードを知らなくても伴奏鍵盤の押し方により4種類のコードが簡単に指定できます。伴奏鍵盤とコードの指定方法は次のとおりです。

【カシオコードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- カシオコードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ動き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

コードの種類	例
メジャーコード 伴奏鍵盤の上側にアルファベットで音名が書いてあります。コード名と同じ音名の鍵盤を1つ押します(伴奏鍵盤の範囲内であれば、1オクターブ違う同音でもかまいません)。	C (Cメジャー) 音名→ C D E F G A B C D E F
マイナーコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を1つ押します。	Cm (Cマイナー) C D E F G A B C D E F
セブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を2つ押します。	C7 (Cセブンス) C D E F G A B C D E F
マイナーセブンスコード メジャーコードの押さえ方に加えて、伴奏鍵盤内の、それより右の鍵盤を3つ押します。	Cm7 (Cマイナーセブンス) C D E F G A B C D E F

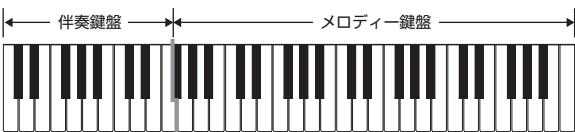
■NOTE■

- 2つ目以降の伴奏鍵盤は、1つめより右側なら白鍵／黒鍵を問わずどれでも使用できます。

■フィンガードについて

この方法で指定できるコードは15種類です。伴奏鍵盤とコードの指定方法(“C”を根音とした場合)は次のとおりです。

【フィンガードの伴奏／メロディー鍵盤】



重要

- フィンガードの伴奏鍵盤は「コード指定スイッチ」としてのみ動き、通常の鍵盤演奏はメロディー鍵盤の範囲でのみ可能となります。

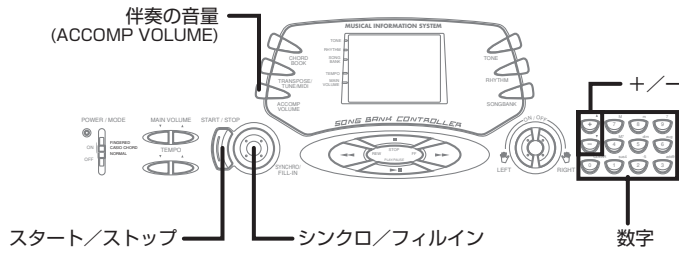
C(メジャー) 	Cm(マイナー) 	C dim(ディミニッシュ)
※1 C aug(オーギュメント) 	C sus4(サスフォー) 	※2 C7(セブンス)
※2 Cm7(マイナーセブンス) 	※2 CM7(メジャーセブンス) 	Cm7-5(マイナーセブンスフラットファイブ)
※1 C7-5(セブンスフラットファイブ) 	C7sus4(セブンスサスフォー) 	※2 C add9(アドナインズ)
※2 Cm add9(アドナインズ) 	※2 CmM7(マイナーメジャーセブンス) 	※1 C dim7(ディミニッシュセブンス)

★ 根音が“C”以外のときは、伴奏鍵盤の範囲内での対応となります(31ページ「フィンガードコード一覧表」参照)。

- ※1： 転回形(下のNOTEを参照)は使えません。最低音が根音となります。
- ※2： 5度のソの音を押さなくても、同じコードが指定できます。

■NOTE■

- 伴奏鍵盤であれば上記の押さえ方(例えばCを「ドミソ」と押さえる)だけでなく、転回形(コードの構成音は同じで並び方の違う押さえ方。例えばCを「ミソド」や「ソドミ」と押さえる)も有効です。
…※1のコードを除く。
- 原則として上記の例のように、コードの構成音すべてを押さえる必要があります。構成音を省略したり1音のみを押さえても無効となり、意図したコードは指定されません。
…※2のコードを除く。



フィルインを入れるには

フィルインとは演奏中のリズムパターンを一時的に変化させた演奏で、リズムにメリハリを付けることができます。

1. スタート/ストップボタンを押してリズムを鳴らします。
2. シンクロ/フィルインボタンを押します。
→ リズムにフィルインが入ります。

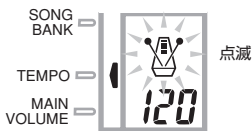
伴奏とリズムを同時にスタートさせるには

伴奏鍵盤を押すと同時にリズムとコード伴奏を同時にスタートさせる方法です。

準備

- リズムを選び、テンポを調節する。
- コードの指定方法を選ぶ。

1. シンクロ/フィルインボタンを押してシンクロススタートの待機状態にします。



2. 伴奏鍵盤でコードを指定します。
→ リズムとコード伴奏が同時にスタートします。

NOTE

- シンクロススタートの待機状態のときに、もう一度シンクロ/フィルインボタンを押すと待機状態が解除されます。

伴奏の音量を変えるには

伴奏パートの音量を通常の演奏とは独立して調節できます。伴奏の音量の範囲は、最小“0”～最大“9”です。

1. 伴奏の音量ボタンを押します。



現在の伴奏の音量が表示されます

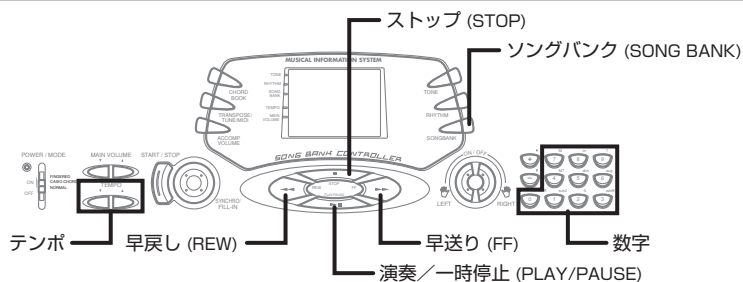
2. +/−ボタンまたは数字ボタンで伴奏の音量を指定します。
例：5



NOTE

- 操作1の後、表示は5秒で元に戻ります。
- 操作2で+と−ボタンを同時に押したときは、“7”になります。

自動演奏曲を楽しんでみましょう



本機は 100 種類の自動演奏曲 (ソング) を内蔵しています。好きな曲を聴いたり、メロディーまたは伴奏を消して自分で弾くことができます。また、液晶画面に押さえるべき鍵盤や指使いが表示されます。

まず、曲を聴いてみましょう

準備

- 電源/モードスイッチを“ノーマル”、“フィンガード”、“カシオコード”のいずれかに合わせる。
- 全体の音量、伴奏の音量を調節する。

- ソングバンクリストから曲を選び、その番号を確認します。
- ソングバンクボタンを押してソングバンクモードにします。



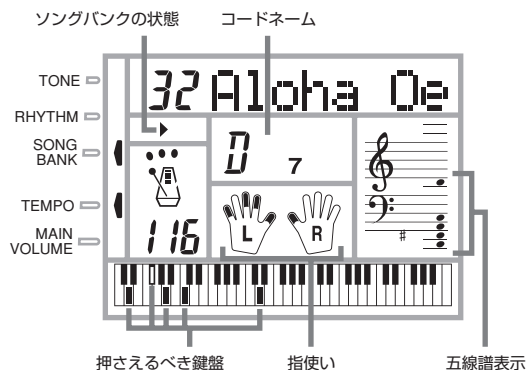
- 数字ボタンで、曲の番号 (2桁) を入力します。
例：“32 アロハ・オエ (ALOHA OE)”なら“3→2”と入力します。
→ “32 アロハ・オエ (ALOHA OE)”が選ばれます。



NOTE

- 電源を入れたときは“00 アイ・ドゥ・イット・フォー・ユー (EVERYTHING I DO) I DO IT FOR YOU”が選ばれています。
- 曲番号は、+/- ボタンでも指定できます。

- 演奏/一時停止ボタンを押すと自動演奏が始まります。

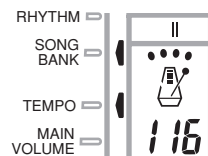


- ストップボタンを押すと自動演奏が止ります。



曲を一時停止するには

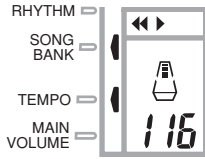
- 曲の演奏中に演奏/一時停止ボタンを押します。



- もう一度演奏/一時停止ボタンを押すと自動演奏が再開されます。

■曲を早戻しするには

1. 曲の演奏中に早戻しボタンを押し続けます。

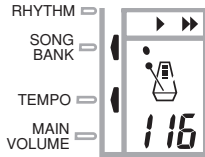


- 早戻し中はガイド音の回数で早戻しの状況をお知らせします。
 - 1回……曲の1小節分が早戻しされたとき
 - 2回……曲の先頭まで早戻しされたとき

2. 早戻しボタンを離すと自動演奏が再開されます。

■曲を早送りするには

1. 曲の自動演奏中に早送りボタンを押し続けます。



- 早送り中はガイド音の回数で早送りの状況をお知らせします。
 - 1回……曲の1小節分が早送りされたとき
 - 3回……曲の終わりまで早送りされたとき

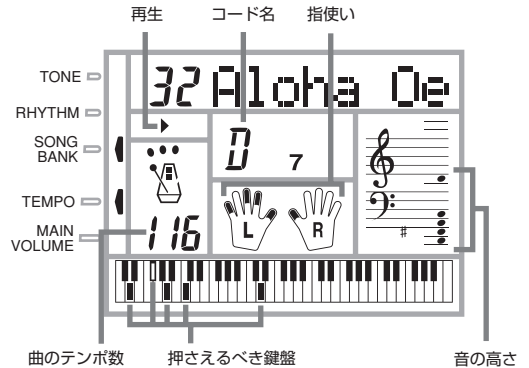
2. 早送りボタンを離すと自動演奏が再開されます。

■NOTE■

- 新しく曲を選ぶと、各曲ごとにあらかじめ設定された音色／テンポ／リズムで演奏されます。音色／テンポのみ自動演奏中に設定を変更することができます。リズムの設定を変更することはできません。
- 00～69番の曲は伴奏の音量を変更することができます。

大型液晶表示の見方について

ソングバンク再生時に曲に合わせて各表示が点灯します。



曲のテンポを変えるには

テンポ（1分間に演奏される拍数）を20～255の範囲で調節ができます。テンポは曲の停止中、自動演奏中、一時停止中に調節ができます。

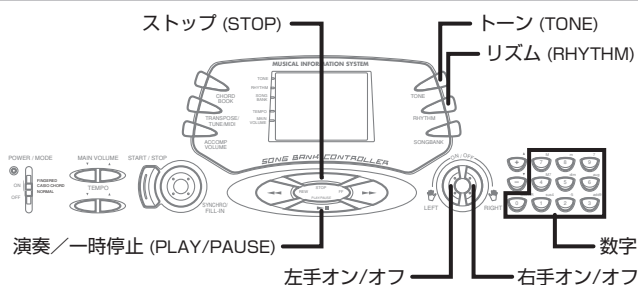
テンポボタン（▲／▼）で調節します。

- ▲：数値が増える（早くなる）。
- ▼：数値が減る（遅くなる）。

■NOTE■

- テンポボタン（▲／▼）を同時に押すと、現在選ばれている曲にあらかじめ設定されているリズムのおすすめのテンポに戻ります。
- 70～99番の曲では曲調に変化をつけるためにおすすめのテンポでの演奏中はテンポが変化します。テンポを調節し直すと、一定のテンポで演奏します。

自動演奏曲を楽しんでみましょう



メロディーの音色を変えるには

本機には100種類の音色が内蔵されています。この中から曲のメロディーの音色を選ぶことができます。メロディーの変更は曲の自動演奏中または、一時停止中に変更ができます。

1. 曲を自動演奏しているときにトーンボタンを押します。



2. トーンリストから音色を選び、数字ボタンで音色番号を入力します。

例：“30 バイオリン(VIOLIN)”なら、3→0と入力します。
 ●バイオリンの音色で曲のメロディーが演奏されます。



●+/-ボタンでも番号を変えることができます。

NOTE

- +/-ボタンを同時に押すと、“00 ピアノ1(PIANO 1)”の音色になります。
- 両手演奏曲の70～99番の曲については左右のパートとも音色が変更されます。
- あらかじめ曲に設定されている音色に戻したい場合は、同じ曲を再度選び直してください。

曲の一部を消して、自分で弾くには

曲のメロディーや伴奏を消して、その部分を自分で弾くことができます。各曲は、メロディー（右手パート）と伴奏（左手パート）の2つのパートに別れています。

曲番号	演奏形態	左手パート	右手パート
00～69	自動伴奏曲	自動伴奏 (打楽器、ベース、コード)	メロディー
70～99	ピアノソロ	左手	右手

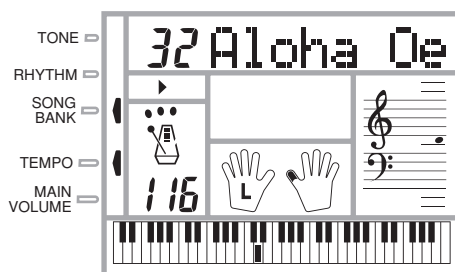
1. ソングバンクモードで練習したい曲を選びます。
2. 右手 オン/オフボタンを押し、曲のメロディー（右手のパート）をオフにします。

- 右手イラストの中の“R”が消え、メロディー（右手のパート）の発音がオフになります。



3. 演奏/一時停止ボタンを押して曲を演奏します。

- 伴奏（左手パート）のみ自動演奏され、メロディー（右手パート）用に押さえるべき鍵盤や指使いが表示されます。



- ★ 液晶表示を見ながら、メロディー（右手のパート）を弾いてみましょう。

4. もう一度右手 オン/オフボタンを押すと、メロディー（右手のパート）も発音します。

- 伴奏（左手のパート）も左手 オン/オフボタンを押すことで伴奏（左手のパート）を消したり、発音させたりできます。自動演奏曲はストップボタンを押すまで、繰り返し自動演奏されます。
- ソングバンクモードの時は、電源/モードスイッチの状態にかかわらず、以下ようになります。
00～69番の曲 左手パートはフィンガードモードに固定されます。
70～99番の曲 鍵盤は全てメロディー鍵盤になります。

■ NOTE ■

- 70～99番の曲では左右パートの音を同時に消すことはできません（“L”または“R”のどちらかが必ず点灯します）。このとき、“L”または“R”の点灯している方のボタンを押すと、その表示は消灯し、もう一方が点灯します。
- 00～69番の曲では左右パートの音を同時に消してもサブメロディー（オブリガード）が発音されます。
- 70～99番の曲では伴奏の音量は動作しません。
- 70～99番の曲では液晶表示にコード名は表示されません。

拍手歓声について

ソングバンクモードで左右どちらかのパートを消して曲を自動演奏した場合、曲の演奏が終わると拍手歓声が鳴ります。

■拍手歓声を消すには

ストップボタンと右手 オン/オフボタン(または左手 オン/オフボタン) を同時に押します。

Ap1=Off

- 拍手歓声をオンにするときも同じ操作をしてください。

自動演奏曲を全曲続けて聴くには

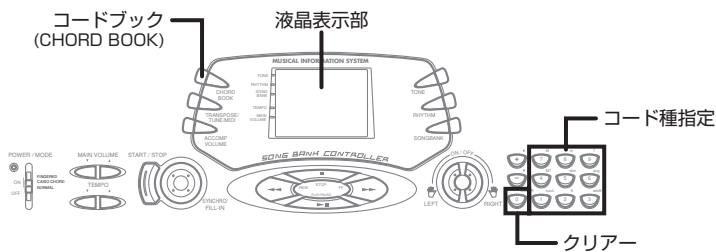
ソングバンクモード以外で演奏/一時停止ボタンを押すと自動演奏曲の00番の曲から順に全曲自動演奏されます。

1. 自動演奏が停止している状態で、トーンボタンまたはリズムボタンを押してソングバンクモード以外のモードにします。



- SONG BANKにドット表示がないことを確認してください。
2. 演奏/一時停止ボタンを押して全ての曲を自動演奏します。
 - 曲をストップボタンまたはスタート/ストップボタンで一旦停止したあと、自動演奏し直すと、その曲のみ繰り返して自動演奏されます。
 3. ストップボタンで自動演奏を停止します。

コードをおぼえましょう (コードブック機能)



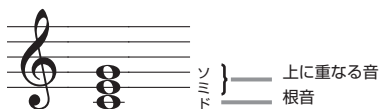
キーボードのコードの押さえ方を覚えれば、フィンガードでの自動伴奏機能を活用し、楽譜集などを見ながら本格的な演奏ができます。本機ではコードネームを見ても押さえ方がわからないときに調べることができます。大型液晶画面にコードネーム/押さえるべき鍵盤/指使い/五線譜が表示されます。

操作の前に知っておきたいこと

■コードとは？

根音(元になる音。ルートとも呼びます)とその上に重なる音で構成されており、重なる音の数によって色々なコードがあります。コードは和音とも呼びます。

[例：C (ドミソ) のコード]



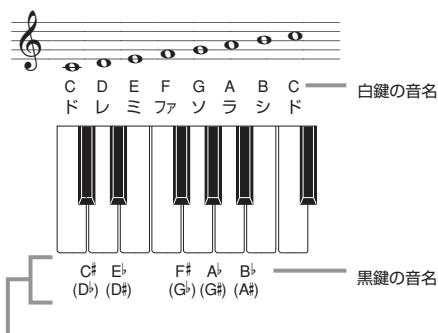
■コードネームとは？

根音の音名をアルファベット大文字(根音が黒鍵の時は#やbがつきます)で表記し、上に重なる音の度数や種類を表す記号がある場合、続けて表記します。コードネームとは和音の名称のことです。

[コードネームの例]

シー C 根音	エフシャープ F# 根音	ビーフラット Bb 根音	エーマイナー Am 根音	シーシャープディミニッシュ C# dim 根音
ジーセブンス G7 —度数 根音	エフメジャーセブンス FM7 根音 度数	ディーナインズ D9 根音 度数	イーサスフォー Esus4 根音	

[音名とアルファベットの対応]



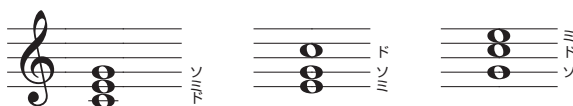
2つの呼び方があります。(異名同音と言います)本機では、一般に使われる機会の多い上側の呼び方に統一しています。

■転回形について

コードがコードネームで指定されている場合、鍵盤の押さえ方は一通りではありません。基本形と構成音が同じで、並び方が違う形のことを転回形と言います。

[例：Cのコード五線譜]

ドミソ、ミソド、ソドミ、全部Cのコードです。



コードブックの操作

1. コードブックボタンを押してコードブックモードにします。



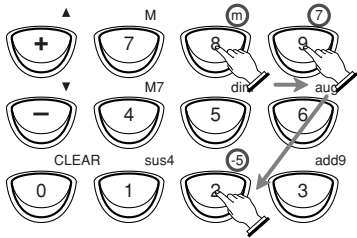
2. クリアーボタンを押します。

- コードネームを消すための操作です。

3. コードネームの根音以外を表記の通りにコード種指定ボタンで押します。

例：F#m7-5の場合 m → 7 → -5 と押します。

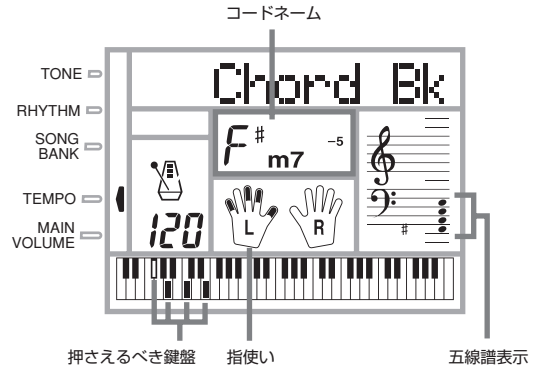
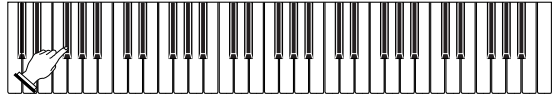
- コード種名はボタンの右上側に表記されています。
- メジャーコードでは何も押しません。（次のページ「根音以外の押し方」参照）



4. コードネームの根音の音名の伴奏鍵盤を押します。

例：F#m7-5の場合 F#の鍵盤を押します。

C#E# F#A#B# C#E#
C D E F G A B C D E F



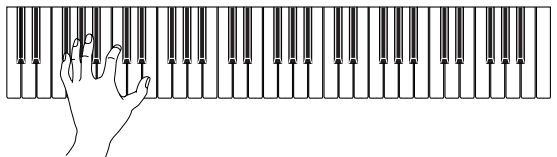
- 押さえるべき鍵盤の鍵盤表示が点灯し、コードが鳴ります。

5. 液晶表示部にコードネームが正しく表示されているのを確認してください。

- 違っていたら、操作2からやり直してください。

6. 押鍵表示の点灯している場所が押さえるべき鍵盤です。表示の通りに何度も押してみても、響きを確認めたり、押さえ方に慣れましょう。

- 指使い表示では標準的な例を示しています。手の大きさや、前後のコードの兼ね合いで、押さえやすい指使いで押さえてみましょう。



■ NOTE ■

- + / - ボタンを押すことでコード種がわからなくてもコードを順に指定することができます。
- 発音されるコードの音はコードブック機能を使用する前に選ばれている自動伴奏のパート音色です。リズムの種類によっては構成音が省略されて発音されることがあります。理論的に正しい響きや転回形の響きは液晶表示を参考にして、メロディー鍵盤でためてみることをおすすめします。

コードをおぼえましょう（コードブック機能）

根音以外の押し方

[押し方表]

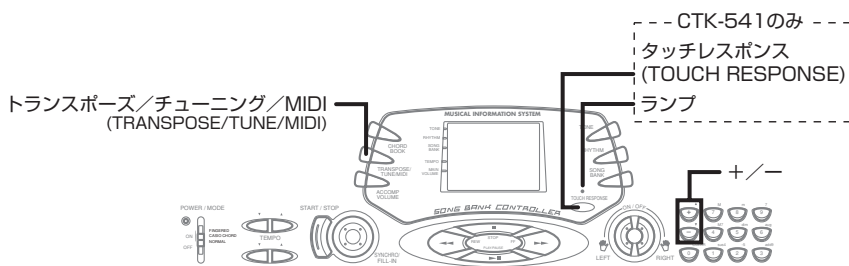
コードの種類	表記例と読み方	他の表記例 (参考)	根音以外の押し方
major	C シー(シーメジャー)		_____
minor	Cm シーマイナー		
aug	Caug シーオーギュメント	C+5	
sus 4	Csus4 シーサスフォー		
dim	Cdim シーディミニッシュ	C°	
7th	C7 シーセブンス		
M7	CM7 シーメジャーセブンス	Cmaj7 C△7	
minor 7	Cm7 シーマイナーセブンス		
minor M7	CmM7 シーマイナーメジャーセブンス		
minor 7-5	Cm7-5 シーマイナーセブンスフラットファイブ	C°	

コードの種類	表記例と読み方	他の表記例 (参考)	根音以外の押し方
7sus 4	C7sus4 シーセブンスサスフォー		
add 9	Cadd9 シーアドナインス		
m add 9	Cm add9 シーマイナーアドナインス		
7th-5	C7-5 シーセブンスフラットファイブ	C7°	
dim7	Cdim7 シーディミニッシュセブンス		

■ NOTE ■

- 表示される押さえ方は本機の伴奏鍵盤の範囲でコードの構成音すべてを押さえる押さえ方で、転回形が多く含まれています。コードが変わっても、左手の位置をあまり移動しないで押さえるフォームがわかります。フィンガードでの自動伴奏時に役立ちます。
- コードネームを表示しているときに、他の根音の伴奏鍵盤を押すと根音の違う同じ種類のコードを調べることができます。
- + / - ボタンを押すことでコード種がわからなくてもコードを順に指定することができます。
- コードによっては、伴奏鍵盤の範囲の関係で、押さえ方の表示がされないものがあります。(31ページ「フィンガードコード一覧表」参照)

設定を変えるには



トランスポーズ機能を利用するには

トランスポーズ機能とは、本機全体の音の高さを半音単位で上下させる機能です。例えば、歌の伴奏をするとき、その楽譜が歌う人の声の高さに合わないことがあります。このようなとき、鍵盤演奏はそのまま、簡単に音の高さを変えることができます。

1. トランスポーズ／チューニング／MIDIボタンを押してトランスポーズの設定画面にします。

0 Trans

2. +／-ボタンでトランスポーズの量を設定します。

例：5半音上にトランスポーズさせる場合。

5 Trans(+)

■NOTE■

- トランスポーズの設定範囲は-6～+5です。
- 電源を入れたときは、“0”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- トランスポーズの設定は、自動伴奏の演奏に反映されます。
- 自動演奏曲を演奏すると“0”になります。

チューニング機能を使うには

チューニング機能とは、本機全体の音の高さを微調節する機能です。この機能を利用すると、チューニングが異なる他の楽器とアンサンブルする場合でも、相手の楽器にチューニングを合わせることができます。

1. トランスポーズ／チューニング／MIDIボタンを2回押します。

00 Tune

2. +／-ボタンでチューニングの量を調節します。
例：チューニングを20下げの場合。

20 Tune(-)

■NOTE■

- チューニングの設定範囲は-50～+50で、±約50セント*です。
* 100セント=半音
- 電源を入れたときは、“00”になります。
- ボタンを押してから5秒間に何もボタンを押さないと、通常の状態に戻ります。
- チューニングの設定は、自動伴奏の演奏にも反映します。
- 自動演奏曲を演奏すると“00”になります。

タッチレスポンス機能を利用するには (CTK-541のみ)

タッチレスポンス機能とは、鍵盤を弾く強弱で音量を変化させるかどうか決める機能です。タッチレスポンス機能がオンの場合、実際のピアノのように鍵盤を弾く強さで音量が変化します。

タッチレスポンスボタンを押して機能のオン／オフを切り替えます。

- タッチレスポンスボタン上のランプが消灯しているとき (タッチレスポンス・オフ) は、鍵盤を弾く強弱にかかわらず、音の大きさが一定となります。

■NOTE■

- 電源を入れ直すと、タッチレスポンス機能はオンになります。
- 自動伴奏や外部からのMIDIノート情報は、タッチレスポンス機能の設定に影響されません。

MIDI を使うには

MIDI について

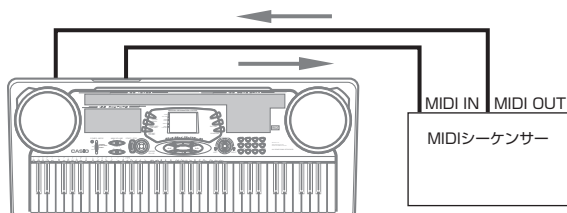
MIDI (ミディ) は、Musical Instrument Digital Interface の略で、電子楽器どうし、あるいは電子楽器とコンピューター機器との間で情報をやり取りできるように、デジタル信号の仕様や端子の形状について定めた統一規格のことです。たとえメーカーや機種が違っても、MIDI 対応の機器どうしであれば「鍵盤を弾いた／離れた」「音色を切り替えた」といった情報 (これらをメッセージと呼びます) を伝えることができます。

本機を単体で使用する場合は、特に MIDI の知識がなくても十分楽しめますが、コンピューターなどの外部機器と組み合わせて使用する場合は、MIDI について最小限知っておくと便利です。MIDI の仕組みやメッセージの種類について簡単に説明しておきましょう。

■ MIDI の接続について

MIDI のメッセージは、ある機器の MIDI アウト端子から他の機器の MIDI イン端子へと、MIDI ケーブルを経由して一方通行で送られます。例えば本機から外部機器へとメッセージを送るには、本機の MIDI アウト端子と外部機器の MIDI イン端子を MIDI ケーブルで接続します。逆に本機へ外部機器からメッセージを送るには、本機の MIDI イン端子と外部機器の MIDI アウト端子を接続します。

コンピューターなどの外部機器に本機の演奏内容を録音／再生するような場合は、MIDI ケーブルを MIDI イン／アウトを両方接続して、お互いの MIDI メッセージがやり取りできるようにします。



■ MIDI チャンネルについて

MIDI では同時に複数のパートの演奏情報を送ることができます。それぞれのパートを区別するのが「MIDI チャンネル」と呼ばれる情報です。MIDI チャンネルには 1～16 までの 16 チャンネルがあり、MIDI でやり取りする演奏情報 (鍵盤を弾くなどの情報) には、必ずこの MIDI チャンネルの情報が含まれています。

MIDI チャンネルは送り側と受け側でそれぞれ設定し、両方のチャンネルが一致したときに受け側で発音するようになっています。例えば受け側が MIDI チャンネル 2 に設定されている場合、MIDI チャンネル 2 の演奏情報のみを受信して他の MIDI チャンネルの演奏情報は無視します。

本機では 16 の MIDI チャンネルのうち 1～4、10 チャンネルのメッセージを受信し、最高 5 楽器パートを演奏することができます (マルチティンバー)。5 つのチャンネルの音色や音量を設定するには外部から必要なメッセージを送ってコントロールする必要があります。逆に本機の鍵盤操作を外部に送信する場合は、MIDI チャンネル 1～16 の中からチャンネルを 1 つ選んで送信します。

GM 音源用音楽データの対応について

GM (General MIDI) とは、音源の機種に依存しない MIDI 演奏データを作るために、メーカーを越えて定められた推奨規格です。GM の規格では音色番号の並び順、ドラム音色の並び順、使用可能な MIDI チャンネル数など、音源の仕様について取り決められています。GM 音源用に作られた演奏データであれば、どのメーカーのどの音源でも同系統の音色 (同じニュアンス) で再生することができます。

本機の音源部は GM に対応していませんが、市販の GM 対応データやパソコン通信などで流通している GM 対応データを、本機に内蔵されている 100 音色に割り振り、コンピューターなどの外部機器と接続して再生することができます。

■ NOTE ■

- パート数の多い GM 対応データは再生できないことがあります。
- パート数が少なく、1～4、10ch の構成のデータであれば再現性が高くなります。

■ 本機で送受信可能なメッセージ

MIDI の規格では、さまざまなメッセージが決められています。ここでは本機が送受信できるメッセージについて説明します。

《ノートオン／オフ》

鍵盤を弾いた (ノートオン)、離れた (ノートオフ) という情報を送るためのメッセージです。ノートオン／オフのメッセージには、

- ノートナンバー… 鍵盤でどの音を弾いたか／離れたか表す情報
- ペロシティ… 鍵盤を弾いた強さを 1～127 の数値で表した情報

が含まれます。通常ノートオンのペロシティは、音の強弱を付けるのに使用します。なお、本機はノートオフのペロシティは受信しません。

本機の鍵盤を弾いたり離したりしたときには、MIDI アウト端子から一定のペロシティでノートオン／オフのメッセージが出力されます。

■ NOTE ■

- 出る音の高さは音色によって異なります（30ページ「音色別発音域表」参照）。
本機の受信したノートナンバーがその音色の発音域より高いか低いときは、同じ音名で一番近い発音域内の音（オクターブ違いの音）に置き代えて発音します。

《プログラムチェンジ》

音色を選ぶためのメッセージです。プログラムチェンジには、0～127の音色情報が含まれています。本機のパネル上で音色番号を選ぶと、同時にMIDIアウト端子からプログラムチェンジのメッセージが出力されます。同じように外部機器から本機の音色を変えることができます。本機は00～99の音色情報の送信と、0～127の音色情報の受信ができます。（28ページ「トーンマップG/N設定」参照）

《ピッチベンド》

演奏中にピッチ（音の高さ）を滑らかに上下させるためのメッセージです。受信のみできます。

《コントロールチェンジ》

演奏中の音にビブラートやボリューム変化などの効果を加えるためのメッセージです。それぞれのコントロールチェンジには、

- コントロールナンバー…効果の種類を区別する番号
- コントロール値…効果の深さ、オン／オフの設定

という情報が含まれています。本機は次のコントロールチェンジを受信可能です。

本機が受信可能なコントロールチェンジ／コントロールナンバー

コントロールチェンジ	コントロールナンバー
ボリューム	7
パン	10
ホールド1*	64
モジュレーション	1

* フットペダルをふむとサスティン効果（ホールド1）が送信されます（コントロールナンバー64）。（12ページ「サスティン端子について」参照）

困ったときは

現象	原因	解決方法	参照
鍵盤を押しても音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 電源が正しくセットされていない。 2. 電源が入っていない。 3. 音量が下がっている。 4. 電源/モードスイッチが“カシオコード”や“フィンガード”の位置のときは、伴奏鍵盤での通常演奏はできません。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ACアダプターが正しく接続されているか、電池の+-の向きが正しいか、電池が消耗していないかを確認する。 2. 電源を入れる。 3. 全体の音量ボタンで音量を上げる。 4. 電源/モードスイッチを“ノーマル”の位置に合わせる。 	<p>E30 10 ページ</p> <p>E30 13 ページ</p> <p>E30 13 ページ</p>
電池で使用していて、下記の状態になった。 <ul style="list-style-type: none"> ・電源ランプが暗くなった。 ・電源が入らなくなった。 ・液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 ・音量が小さくなった。 ・音質が劣化した。 ・大きな音を出すと、時々音が途切れる。 ・大きな音を出すと、突然電源が切れる。 ・大きな音を出すと、液晶表示がうすくなったり、ちらついたりする。 ・鍵盤を押していないのに音が出続ける。 ・指定の音色とは異なる音を発音する。 ・リズムや自動演奏曲などが正しく発音されない。 ・MIDIを接続して曲を再生すると、電源が切れる。音が劣化する。音が小さくなる。 	電池が消耗している。	新しい電池と取り替える。または、ACアダプターを使用する。	E30 10 ページ
自動伴奏の音が鳴らない。	自動伴奏の音量が“0”になっている。	伴奏の音量ボタンで伴奏の音量を上げる。	E30 17 ページ
他のMIDI楽器と同時に鳴らしたとき、お互いのキーまたはチューニングが合っていない。	チューニングまたはトランスポーズの設定が“0”または“00”以外になっている。	トランスポーズ/チューニング/MIDIボタンでトランスポーズとチューニングの設定を“0”または“00”にする。	E30 25 ページ
自動演奏曲のどちらかのパートの音が出ない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 左手または右手パートの表示が消えている。 2. 伴奏の音量が“0”になっている。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 表示が消えている方のボタンを押す(左手 オン/オフまたは右手 オン/オフボタン)。 2. 伴奏の音量を大きくする。 	<p>E30 20 ページ</p> <p>E30 17 ページ</p>
コンピューターからMIDIデータを再生しても音が鳴らない。	MIDIケーブルが正しく接続されていない。	MIDIケーブルが正しく接続されていることを確認する。	E30 26 ページ
コンピューターでGM対応データを再生すると、ベース音色の演奏が1オクターブ低い。	トーンマップがNになっている。	トランスポーズ/チューニング/MIDIボタンで、トーンマップをGにする。	E30 28 ページ
コンピューターとMIDI接続しているとき、鍵盤を弾くと発音が不自然になる。	コンピューター側のMIDIスルー機能がオンになっている。	コンピューター側のMIDIスルー機能をオフにする。	E30 ご使用のシーケンサーソフトの取扱説明書をご参照ください。

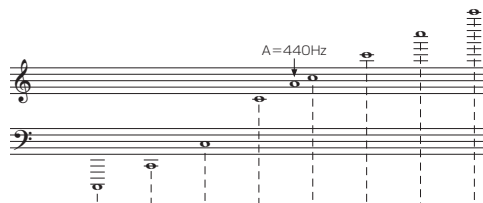
資料

音色別発音域表

音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ	対応 GM No.	音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ	対応 GM No.	音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ	対応 GM No.	音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ	対応 GM No.	音色番号	最大同時発音数	音域のタイプ	対応 GM No.
00	16	A	000	10	16	A	016	20	16	A	024	30	16	A	040, 041	40	16	A	056
01	16	A	001	11	16	A	017	21	16	A	025	31	16	B	042, 043	41	16	B	058
02	8	A	003	12	16	A	018	22	16	A	026	32	16	A	045, 046, 047	42	8	A	057
03	8	A	002	13	8	A	015	23	16	A	027	33	16	A	048, 055	43	16	B	060
04	16	A	004	14	16	A	014, 019	24	16	A	028	34	16	A	049	44	8	B	059
05	16	A	005	15	8	A	104	25	16	A	029, 030, 031, 084	35	8	A	044	45	16	B	061
06	8	A	008	16	16	A	020	26	16	B	032	36	16	A	050	46	8	B	069
07	8	A	009	17	8	A	021	27	16	B	033, 034, 035	37	8	A	051	47	16	B	062
08	16	A	006	18	16	A	023	28	16	B	036, 037	38	16	A	091, 052	48	8	B	063, 083
09	16	A	007	19	16	A	022	29	16	A	105	39	16	A	053	49	8	B	070
50	16	A	064	60	16	A	087	70	8	A	096	80	8	A	106	90	16	E	100, 116
51	16	A	065	61	8	A	081, 086	71	8	A	103	81	8	A	088, 107	91	8	E	117
52	16	A	066, 067	62	16	A	080	72	8	A	097	82	8	A	108	92	16	E	118
53	16	A	068	63	8	A	082	73	8	A	101	83	8	A	109	93	16	E	119
54	16	A	071	64	8	A	089	74	16	B	039	84	8	A	099, 110	94	16	E	120
55	16	C	072	65	8	A	090	75	16	D	126, 127	85	8	A	111	95	16	E	121
56	16	A	073	66	8	A	095	76	8	A	102	86	8	B	112	96	16	E	122
57	16	A	074, 079	67	8	A	092, 093, 098	77	8	D	125	87	8	A	113	97	16	A	010, 011, 014
58	16	A	075, 076, 077	68	8	A	054, 085, 094	78	16	D	124	88	8	A	114	98	16	A	012, 013
59	16	A	078	69	16	B	038	79	8	D	123	89	8	A	115	99	16	D	

NOTE

- 音域のタイプ (A～E) は下の表を参照してください。
- 対応 GM ナンバーはトーンマップの設定を “G” に設定したときに割り振られる GM の音色番号です。



音域のタイプ	C-1	C0	A0C1	A1C2	A2C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	G9
A (標準タイプ)												
B*1 (低域楽器)												
C*2 (“55 PICCOLO” のみ)												
D (サウンドエフェクト)	音階のない音色											
E (スプリット)	音色により音域が異なります。											

- a鍵盤演奏時の音域
- b発音可能音域 (MIDIの受信時)
- cbの範囲の一番近い同名の音に置き代わる音域 (MIDIの受信時)

- *1 MIDI受信時は、1オクターブ低い音程で鳴ります。
*2 MIDI受信時は、1オクターブ高い音程で鳴ります。

フィンガードコード一覧表

よく使われるコードの各キーでの左手の押さえ方です（転回形も含まれています）。
液晶表示部の表示はこれと同じです。

※伴奏鍵盤の範囲の関係でフィンガードでは指定できません。

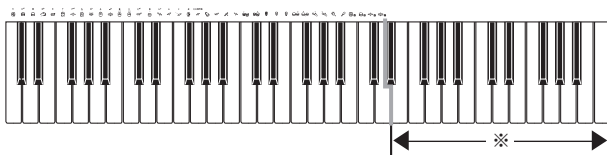


コード種 ルート	メジャー	m (マイナー)	7 (セブンス)	m7 (マイナーセブンス)	dim7 (ディミニッシュセブンス)	M7 (メジャーセブンス)	m7-5 (マイナセブンスフラットファイブ)	dim (ディミニッシュ)
C	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
C# (D♭)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
D	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
E♭ (D#)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
E	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
F	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
F# (G♭)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
G	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2]
A♭ (G#)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
A	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	※	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
B♭ (A#)	[5, 3, 1]	[5, 3, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	※	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]
B	[5, 2, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	※	[5, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2]

コード種 ルート	aug (オーギュメント)	sus4 (サスフォー)	7 sus4 (セブンスサスフォー)	m add9 (マイナーアドナイン)	m M7 (マイナーメジャーセブンス)	7-5 (セブンスフラットファイブ)	add9 (アドナイン)
C	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
C# (Db)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
D	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
Eb (D#)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
E	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
F	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
F# (Gb)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
G	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
Ab (G#)	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
A	[5, 3, 1]	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
Bb (A#)	※	[5, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[5, 4, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]
B	※	[5, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]	[4, 3, 2, 1]	[5, 3, 2, 1]

ドラム音色リスト

本機で“99 パーカッション”の音色を選ぶと、下図の打楽器音が割り当てられます。(鍵盤上側の打楽器イラスト参照)



※この範囲は、鍵盤を押しても音は鳴りません。

🥁 バスドラム 1	🥁 オープン ハイハット	🥁 カウベル	🥁 ロー ティンパレス
🥁 サイドスティック	🥁 ロー ミドルタム	🥁 クラッシュシンバル 2	🥁 ハイ アゴゴ
🥁 アコースティック スネア	🥁 ハイ ミドルタム	🥁 クラベス	🥁 ロー アゴゴ
🥁 ハンドクラップ	🥁 クラッシュシンバル 1	🥁 ライドシンバル 2	🥁 カバサ
🥁 エレクトリック スネア	🥁 ハイ タム	🥁 ハイ ボンゴ	🥁 マラカス
🥁 ロー フロアタム	🥁 ライドシンバル 1	🥁 ロー ボンゴ	🥁 ボイス バスドラム
🥁 クローズド ハイハット	🥁 チャイニーズシンバル	🥁 ミュート ハイ コンガ	🥁 ボイス スネア
🥁 ハイ フロアタム	🥁 ライドベル	🥁 オープン ハイ コンガ	🥁 ボイス クローズドハイハット
🥁 ペダル ハイハット	🥁 タンバリン	🥁 ロー コンガ	🥁 ボイス オープンハイハット
🥁 ロー タム	🥁 スブラッシュシンバル	🥁 ハイ ティンパレス	

製品仕様

型式	CTK-531/CTK-541
鍵盤	CTK-531: 61 鍵 5 オクターブ (標準鍵盤) CTK-541: 61 鍵 5 オクターブ (標準鍵盤) ……タッチレスポンス機能付き (オン/オフ)
音色数	100
同時発音数	最大 16 音 (一部音色により最大 8 音)
自動伴奏機能 ・リズムパターン数 ・テンポ ・コード ・リズムコントローラ ・伴奏の音量	100 種類 可変 (236 段階 ↓ = 20 ~ 255) 2 種類 (カシオコード/フィンガード) スタート/ストップ、シンクロ/フィルイン 0 ~ 9 (10 段階)
ソングバンク機能 ・ソング数 ・コントローラ	100 曲 プレイ/ポーズ、ストップ、早戻し、早送り、左手 オン/オフ、右手 オン/オフ
ミュージカルインフォメーション機能 ・名称表示 ・テンポ表示 ・コード表示 ・運指等表示 ・ソングバンク状態表示 ・五線譜表示 ・鍵盤表示	トーン/リズム/ソングバンク名・番号 テンポ値、メトロノーム、シンクロ待機、拍 コード名、コードフォーム 運指、パート、ペダル記号、オクターブ記号 プレイ、ポーズ、早戻し、早送り 5 オクターブ、# / ♭ 5 オクターブ
MIDI 機能	5 マルチティンバー受信
その他の機能 ・トランスポーズ機能 ・チューニング機能	12 段階 (-6 半音 ~ 0 ~ +5 半音) 可変 …… A4 = 約 440Hz ± 50 セント
端子 ・MIDI イン/アウト端子 ・サスティン端子 ・ヘッドホン・アウトプット端子 ・電源端子	IN、OUT 標準ジャック (サスティン) ステレオ標準ジャック 出力インピーダンス 50 Ω 出力電圧 3.5V (RMS) MAX DC9V
電源 ・電池 ・家庭用 100V 電源使用 ・オートパワーオフ機能	2 電源方式 単 1 形電池 6 本使用 電池持続時間: 約 5 時間 マンガン電池使用時 AC アダプター AD-5JL を使用 約 6 分後 (電池使用時) キャンセル可能
スピーカー出力	2.0W + 2.0W
消費電力	9V --- 7.7W
サイズ	幅 96.1 × 奥行 37.6 × 高さ 14.3 cm
重量	約 5.7kg (電池含まず)
付属品	和文操作シート、譜面立て、AC アダプター (AD-5JL)、取扱説明書 (本書)、保証書、楽譜集

★改良のため、仕様およびデザインの一部を予告なく変更することがあります。

【別売品のご案内】

商品名	品番	価格
ヘッドホン	CP-3A	¥4,000
サスティンペダル	SP-2	¥2,500
	SP-10	¥4,000
スタンド	CS-4B	¥5,000
	CS-7B	¥11,000
	CS-10	¥7,000
MIDI ケーブル	MK-5	¥2,000
レッスンビデオ、楽譜集は次ページをご覧ください。		

★ 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店 (全国の有名楽器店、デパートなど) でお求めに出来ます。

★ 価格には、消費税は含まれておりません。

カシオトーン用ソフトのご紹介

■自動伴奏機能付カシオトーン全機種対応レッスンビデオ

ビデオでレッスンチャレンジカシオトーンシリーズ (各¥2,900)



LKV-11子供用入門

ドレミがわからなくても大丈夫、アニメを交えた説明で、楽しく練習できます。

曲目： チューリップ・ちょうちょ・チョップスティックス・きらきらぼし・おどるポンポコリン・となりのトトロ



LKV-32楽しいレパートリー2

ドレミはわかるけれど、楽譜は苦手という方に。
曲目： 夏の思い出・四季の歌・エデンの東・くちなしの花・君といつまでも

■楽譜集

やさしく弾けるファミリーキーボードライブラリーカシオトーンランドシリーズ (各¥1,000 ~ ¥1,200)

CFL-101YC ようこそカシオトーンランドへ	CFL-102HC 初めてのカシオトーン	CFL-103KU こどものうた1	CFL-104KU こどものうた2	CFL-106TV TVソング1	CFL-106YH ヤングベストヒット1	CFL-107HP ヒットポップス
(子供用入門) 大きな栗の木の下で 茶色のごびん かっこう 他 全37曲	(大人用入門) 河は呼んでる 500マイルはなれて 駅馬車 他 全35曲	アイアイ いぬのおまわりさん ぞうさん 他 全45曲	春がきた 赤とんぼ ハイ・ロー 他 全44曲	となりのトトロ 勇気のしるし おどるポンポコリン 他 全30曲	OH YEAH! あー 夏休み 千流の雫 他 全22曲	すべてをあなたに やさしく歌って レット・イット・ビー 他 全29曲
CFL-108NM ニューミュージック	CFL-109EL イージーリスニング	CFL-110KH カラオケヒット	CFL-111HS ヒットソング1	CFL-112HS ヒットソング2	CFL-113RK 永遠のロック	
いとしのエリー ANNIVERSARY SUMMER CANDLES 他 全24曲	オリーブの首飾り マイ・ウェイ ある愛の詩 他 全29曲	釜山港へ帰れ つぐない 別れても好きな人 他 全30曲	君がいるだけで それが大事 ラブストーリーは突然に 他 全20曲	SAY YES どんなときも 会いたい 他 全21曲	青い影 キラー・クイーン スモーク・オン・ザ・ ウォーター 他 全21曲	

★ 上記ご案内は、本書印刷時点でのものです (万一品切れの際はご容赦ください)。

★ 別売品はいずれも、カシオ電子楽器取扱店 (全国の有名楽器店、デパート) でお求めになれます。

ご使用上の注意

「安全上のご注意」と併せてお読みください。

- **テレビやラジオの近くでは使わないでください。**
テレビやラジオの画像や音が、乱れることがあります。そのようなときは、テレビやラジオから充分に離してお使いください。
- **お手入れにベンジンなどの化学薬品を使わないでください。**
鍵盤などのお手入れは、柔らかな布を薄い中性洗剤液に浸し、固く絞って拭いてください。ベンジン、アルコール、シンナーなどの化学薬品は絶対にご使用にならないでください。
- **極端に温度の高い場所や低い場所では使わないでください。**
液晶表示がうすくなり、見づらくなります。そのようなときは、常温にすると液晶表示はもとに戻ります。

ウエルドライン

外観にスジのように見える箇所がありますが、これは、樹脂成形上の“ウエルドライン”と呼ばれるものであり、ヒビやキズではありません。ご使用にはまったく支障ありません。

音のエチケット

楽しい音楽も時と場合によっては気になるものです。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。周囲に迷惑のわからない音量でお楽しみください。窓をしめたり、ヘッドホンを使用するのもひとつの方法です。お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

- 本書の内容については万全を期して作成いたしました。万一ご不明な点や誤りなど、お気付きの点がございましたらご連絡ください。
- 本書の一部または全部を無断で複製することは禁止されています。また個人としてご利用になる場合は、著作権法上、当社に無断では使用できませんのでご注意ください。
- 本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容に関しては、将来予告なく変更することがあります。

保証・アフターサービスについて

■ 保証書はよくお読みください

保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

■ 保証期間は保証書に記載されています

■ 修理を依頼されるときは

まず、もう一度、取扱説明書にしたがって正しく操作していただき、直らないときには次の処置をしてください。

● 保証期間中は

保証書の規定にしたがってお買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションが修理をさせていただきます。

- 保証書に「持込修理」と記載されているものは、製品に保証書を添えてご持参またはご送付ください。
- 保証書に「出張修理」と記載されているものは、お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。

● 保証期間が過ぎているときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションまでご連絡ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

■ あらかじめご了承ください

- 「修理のとき一部代替部品を使わせていただくこと」や「修理が困難な場合には、修理せず同等品と交換させていただくこと」があります。また、特別注文された製品の修理では、ケースなどをカシオ純正部品と交換させていただくことがあります。
- 仕様が日本国内向けの製品は海外での修理受付ができません。修理品は日本まで移動の上、日本国内のカシオテクノ・サービスステーションにご依頼ください。

■ アフターサービスなどについて、おわかりにならないときは

お買上げの販売店または取扱説明書等に記載のカシオテクノ・サービスステーションにお問い合わせください。

■ カシオ製品のアフターサービス業務は、カシオテクノ株式会社が担当いたします

Model CTK-531/CTK-541 MIDI インプリメンテーション・チャート

Version: 1.0

ファンクション	送信	受信	備考
ベーシック チャンネル	1 1~16	1~4, 10 1~4, 10	
モード	モード3 X *****	モード3 X *****	
ノート ナンバー	36-96 *****	0~127 36~96*1	*1 : 音色による
ペロシティー	ノート・オン ノート・オフ 0 9nH v = *2 X 9nH v = 0	0 9nH v = 1~127 X 9nH v = 0, 8nH v = *3	*3 : 関係なし
アフター タッチ	キー別 チャンネル別 X X	X X	
ピッチ・バンド	X	0	
コントロール チェンジ	1 6, 38 7 10 11 64	0 X X X X X 0	モジュレーション データ・エントリー ボリューム パン エクスプレッション ホールド1

100, 101 120 121	X X X	X X X	RPN LSB, MSB オール・サウンド・オフ リセット・オール・コントローラー
プログラム チェンジ 設定可能範囲	0 0~99 *** **	0 0~127 *4 *** **	
エクスクルーシブ	X	X	
コモン	X X X	X X X	
リアル タイム	X X	X X	
その他	X X X X	X X X X	
備考	<p>*2: (CTK-531) 75、100 ノート・オン情報は本機の全体の音量の値が9~2の場合はV (ベロシティ) =100 が、1または0の場合はV=75として送信されます。</p> <p>*4: トーンマップの設定により変わります。各設定については、「パラメーターの動き とその表示について」(28ページ) をご参照ください。</p>		

モード1：オムニ・オン、ポリ
モード3：オムニ・オフ、ポリ

モード2：オムニ・オン、モノ
モード4：オムニ・オフ、モノ



This recycle mark indicates that the packaging conforms to the environmental protection legislation in Germany.

これは、梱包箱がドイツの環境保護法に適合していることを示すリサイクルマークです。

CASIO

カシオ計算機株式会社

〒151-8543 東京都渋谷区本町1-6-2

MA9904-B Printed in Thailand
CTK531J-2